

第5次幸手市総合振興計画  
後期基本計画策定

第3回 市民検討会議

平成25年2月27日(水)  
19:00～21:00

# 第3回市民検討会議のプログラム

## 1. はじめに (約10分)

市民検討会議の流れと検討テーマについて説明します。

## 2. テーマに関する情報提供 (約10分)

本日のテーマに関わる基礎データ等について紹介します。

## 3. グループワーク① 現状把握 (約35分)

「安全・安心なまちをつくるために」に関する検討課題に対して、現状についての意見交換を行います。

(休憩)

## 4. グループワーク②課題解決に向けたアイデア出し (約35分)

ワーク①で整理した現状を踏まえて、課題を解決するための取り組みアイデアについての意見交換を行います。

## 5. まとめ (約15分)

出された意見を共有します。



# 1. はじめに

# 市民検討会議の流れ

第2回から第4回にかけては、各回ごとに、検討テーマについて現状把握や課題解決に向けた取り組みアイデアの検討などを行います。

第1回  
1/20(日)

テーマ設定

・「幸手市のまちづくりにとって重要なこと」について意見交換を行いました。

第2回  
2/3(日)

検討(1)

テーマ  
『**活気と活力のあるまちをつくるために**』

第3回  
2/27(水)

検討(2)

テーマ  
『**安全・安心なまちをつくるために**』

第4回  
3/26(火)

検討(3)

テーマ  
『**みんなでまちをつくるために**』

第5回  
4/24(水)

とりまとめ

・事前送付する「提言書(案)」について、確認します。  
・協働の推進について、とりまとめを行います。

後期基本計画策定に向けた「**市民検討会議 提言書**」として提出

# 各回のテーマと検討課題

## テーマ

## 検討課題

### 【第2回】

活気と活力のあるまちをつくるために

①

子どもがいきいきと成長でき、かつ将来、子どもが残れるまちにするにはどうすれば良いか。

②

幸手の自然や文化を守り育てるためにはどうすれば良いか。

③

働く場所があり、活気があふれるまちにするためにはどうすれば良いか。

### 【第3回】

安全・安心なまちをつくるために

④

安心・安全に住み続けられるまちにするためにはどうすれば良いか。  
(福祉／防災／防犯など)

⑤

快適・便利に暮らせるまちにするためにはどうすれば良いか。  
(道路／公共交通など)

⑥

幸手のことを、市民にも市外の人にも、もっと知ってもらうためにはどうすれば良いか。

⑦

一人ひとりが活躍できる、地域力の高いまちにするためにはどうすれば良いか。

⑧

幸手のまちづくりをみんなで考える仕組みをつくるためにはどうすれば良いか。

### 【第4回】

みんなでまちをつくるために

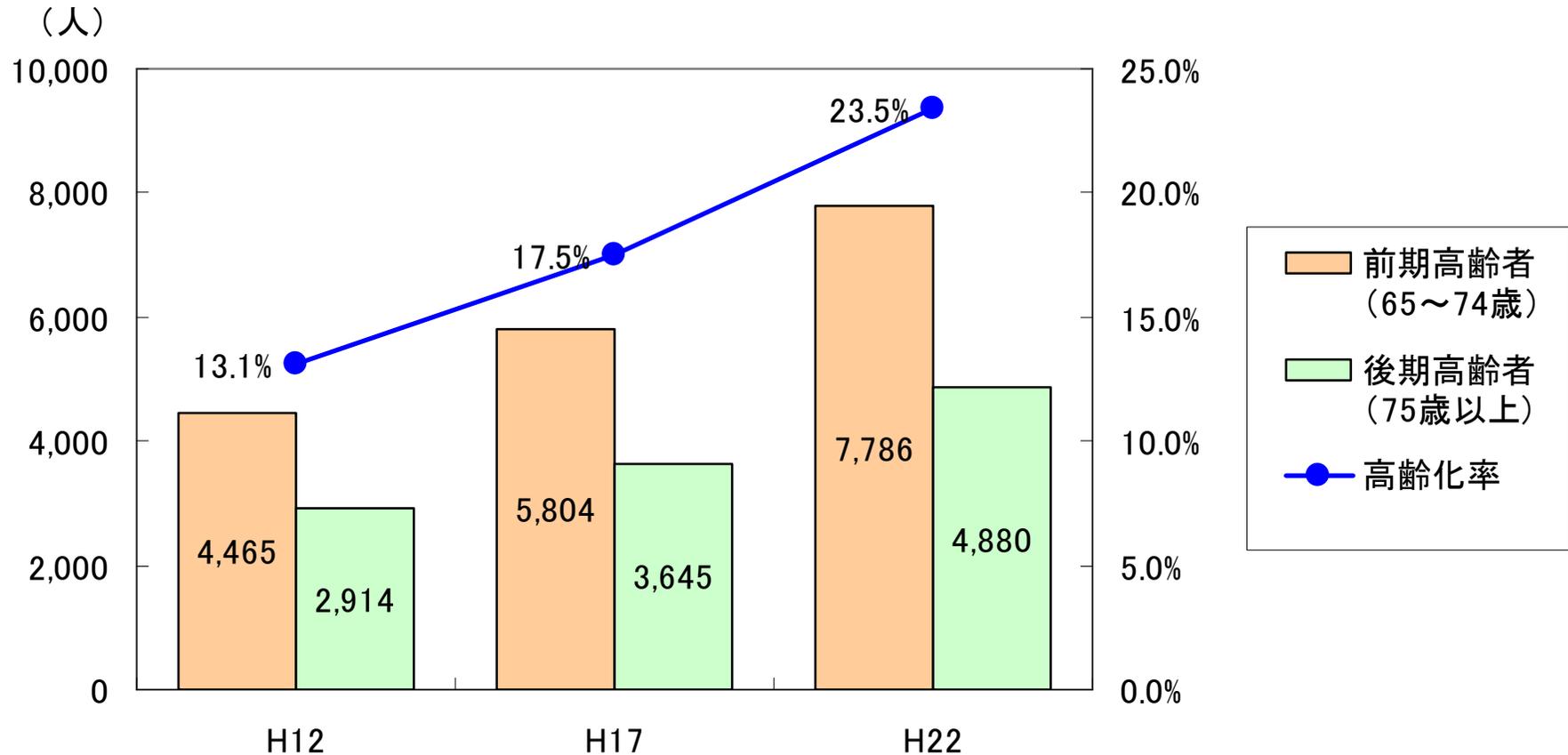


## 2. テーマに関する情報提供

# 基礎データ

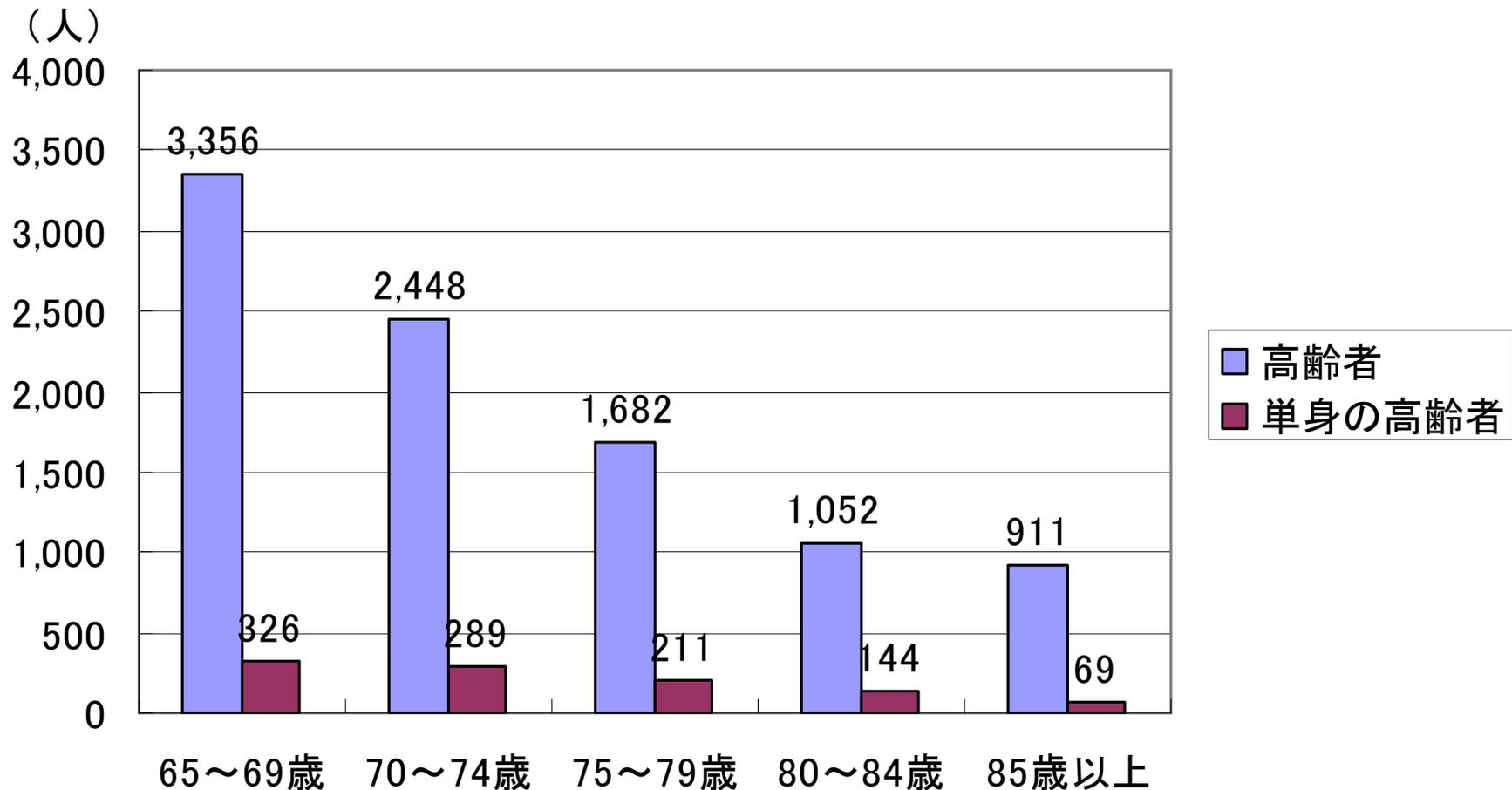
## ■高齢者数の推移

- ◆前期高齢者(65～74歳)及び後期高齢者(75歳以上)ともに、年々増加している。
- ◆計画期間の平成31年には、高齢化率が32.5%になる推計。



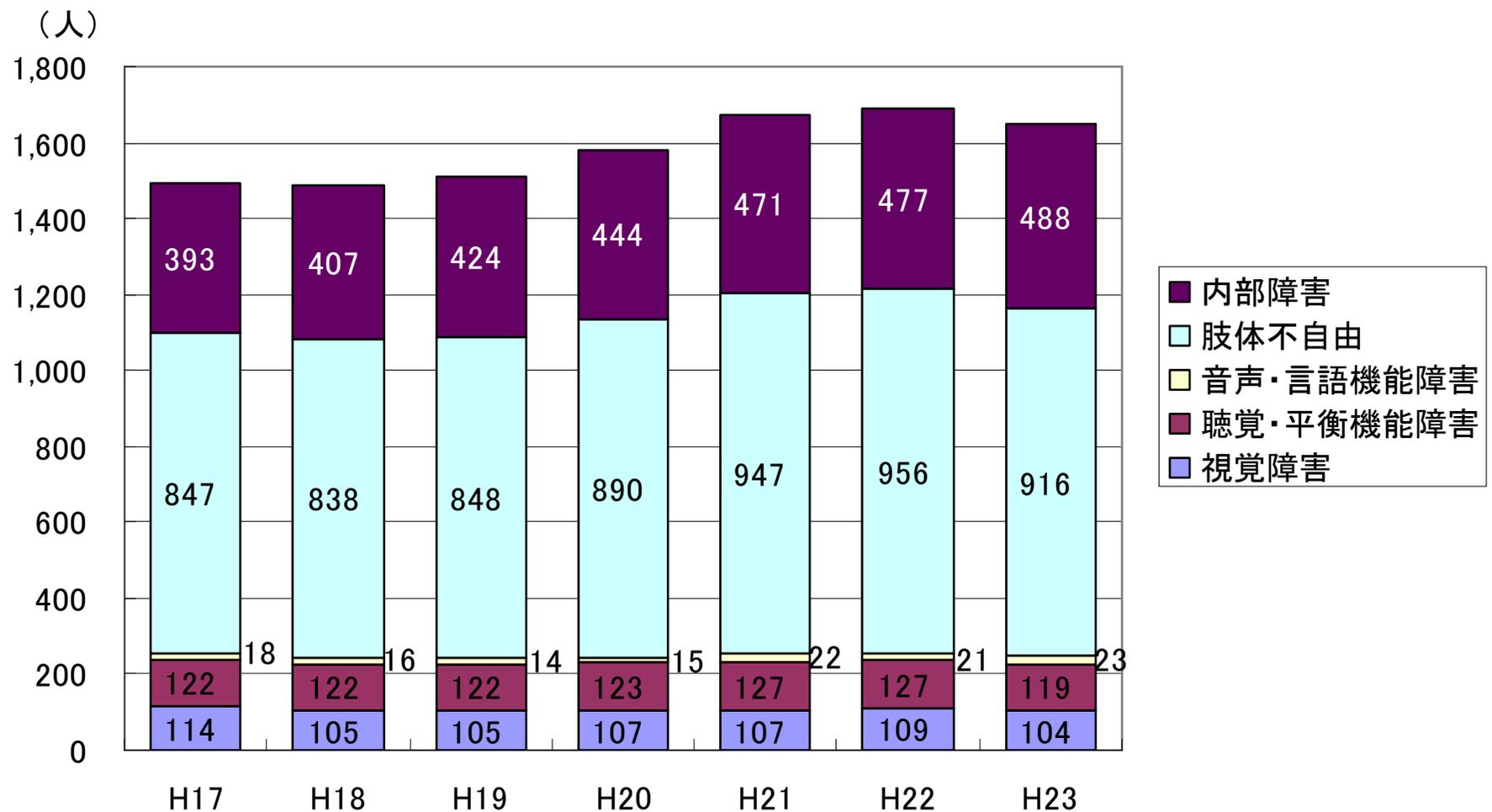
## ■高齢単身者数の状況

- ◆平成17年時点で高齢者9,449人のうち、単身は1,039人(11.1%)
- ◆今後、高齢者の増加に伴い高齢単身者の増加が予測される。



## ■身体障害者手帳交付数の推移

- ◆交付数は、近年1,650人程度を推移している。
- ◆内部障害(糖尿病などを含む)は増加傾向にある。

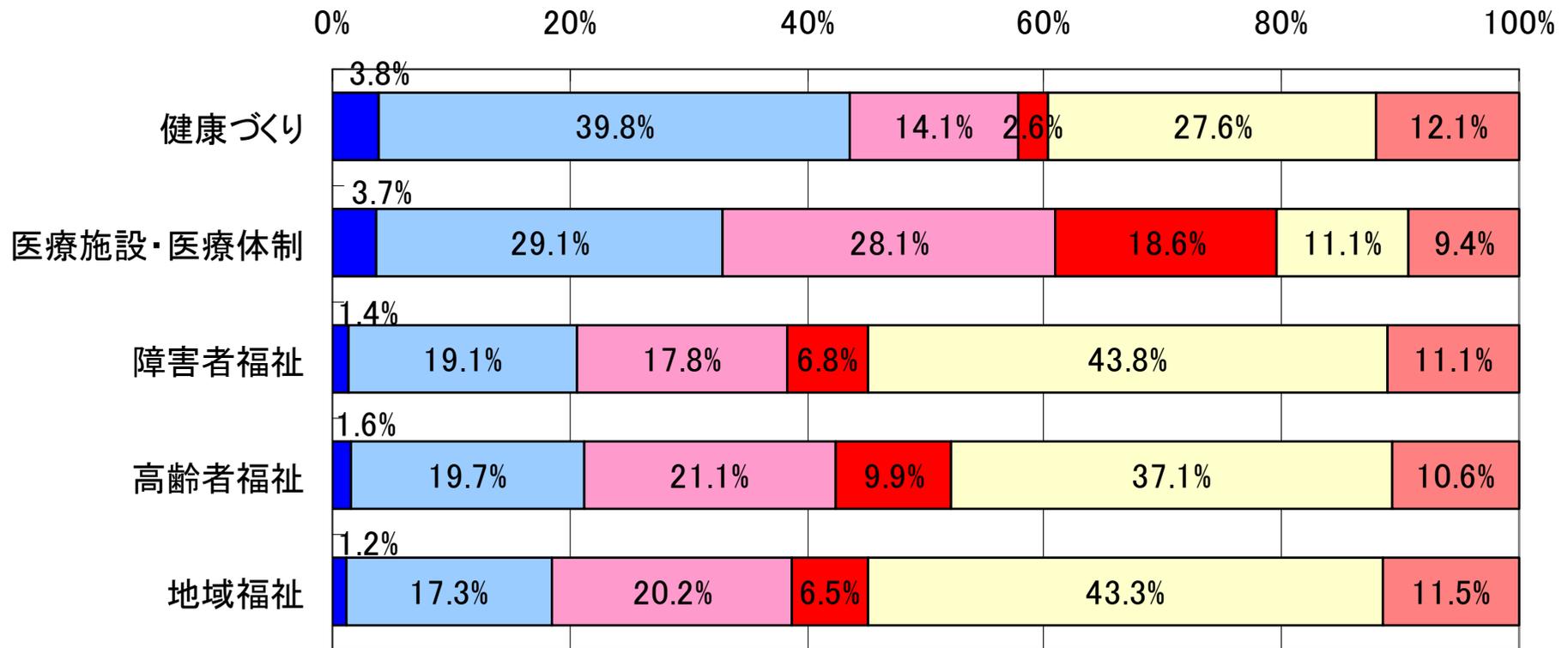


# 市民アンケート調査結果

## ●施策の満足度（医療・福祉分野）

◆健康づくりに満足している人は、43.6%

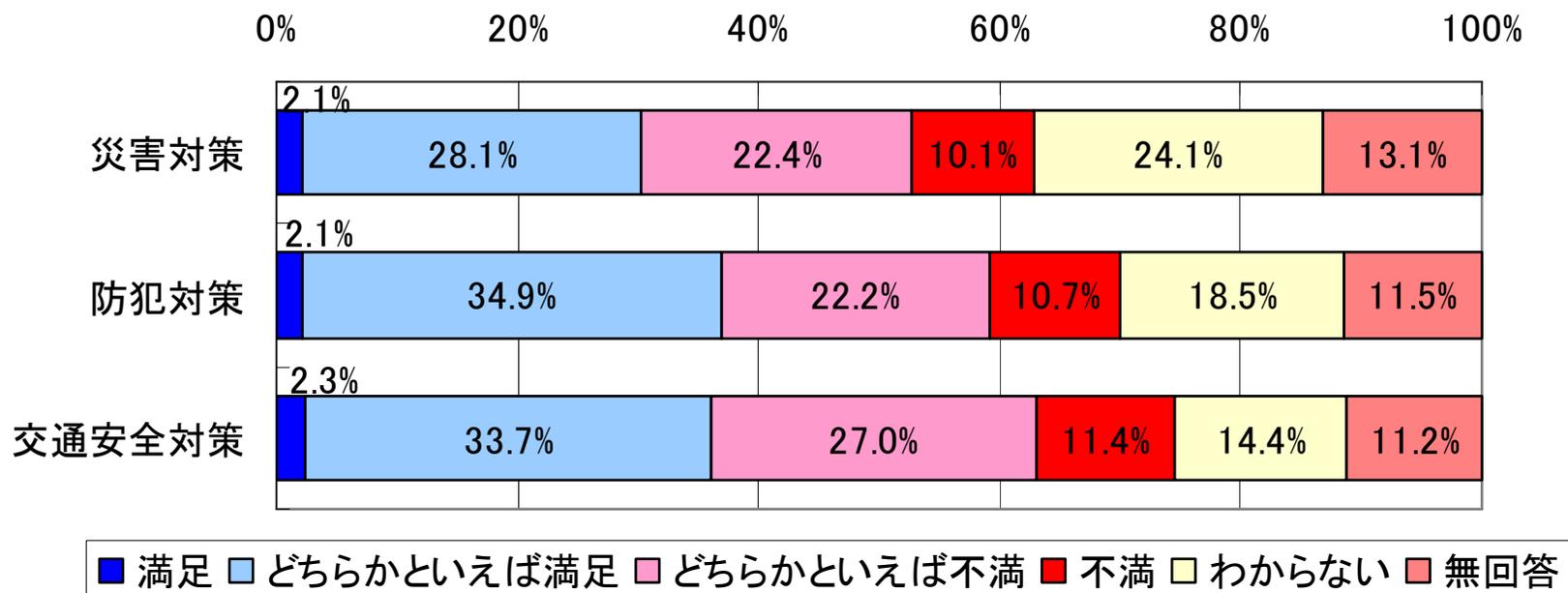
◆医療施設・医療体制に満足していない人は、46.7%



■ 満足 ■ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 ■ 不満 □ わからない ■ 無回答

## ●施策の満足度（防犯、防災）

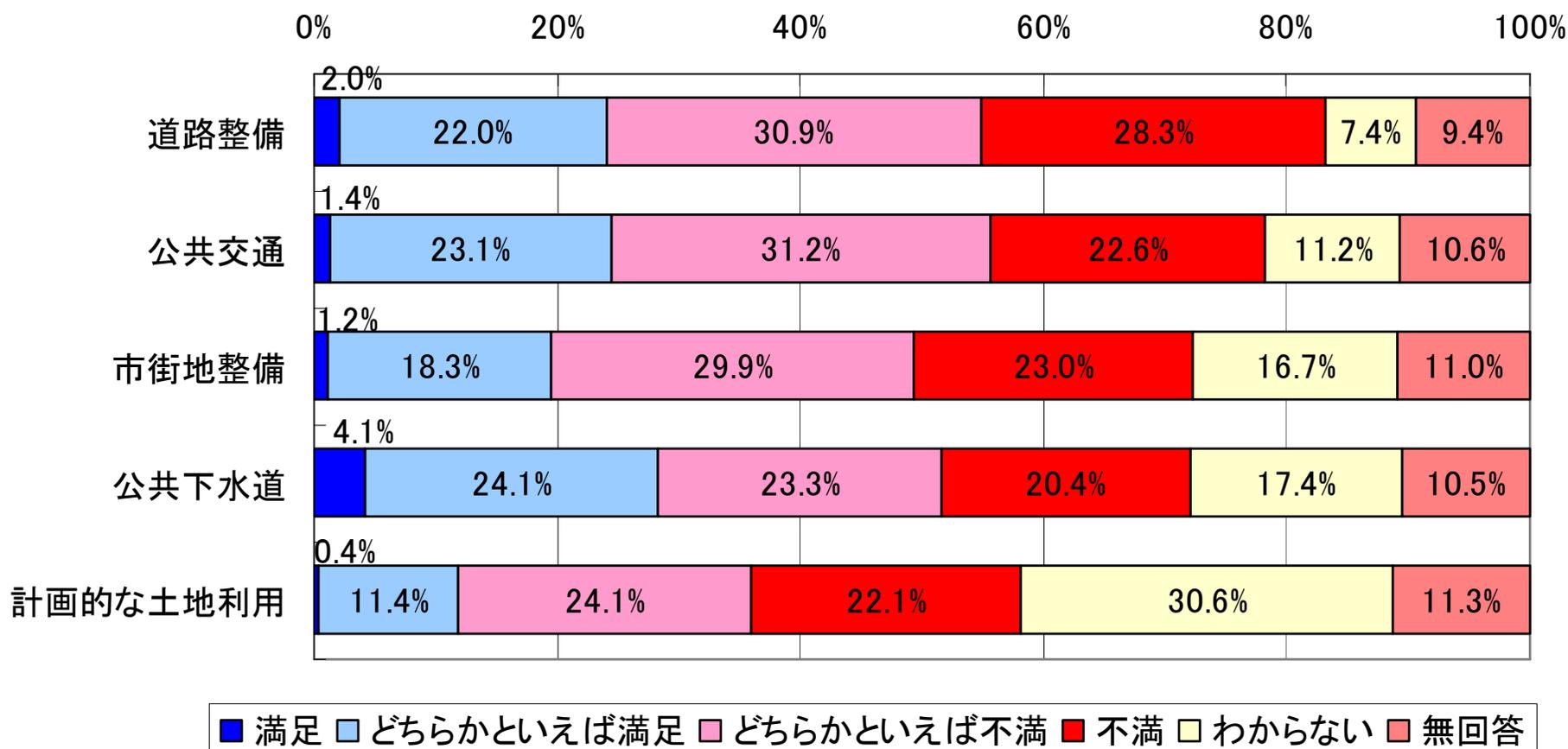
- ◆災害対策に満足している人は、30.2%
- ◆防犯対策に満足している人は、37.0%
- ◆いずれも不満に感じている人が約3～4割



## ●施策の満足度（都市基盤分野）

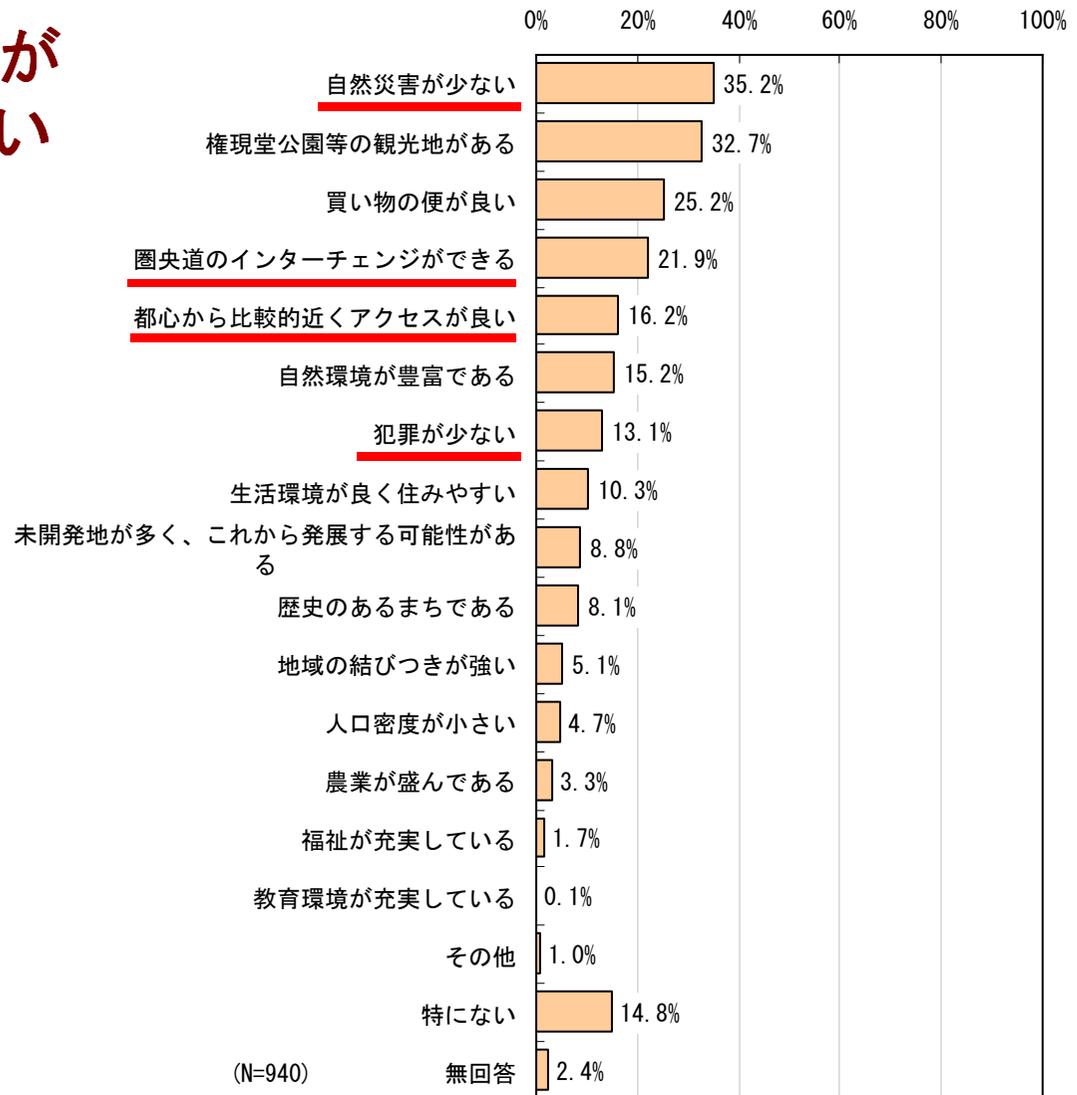
◆道路整備、公共交通に満足している人は、それぞれ約24%

◆一方、道路整備に不満を感じている人は59.2%、公共交通に不満を感じている人は53.8%と多い。



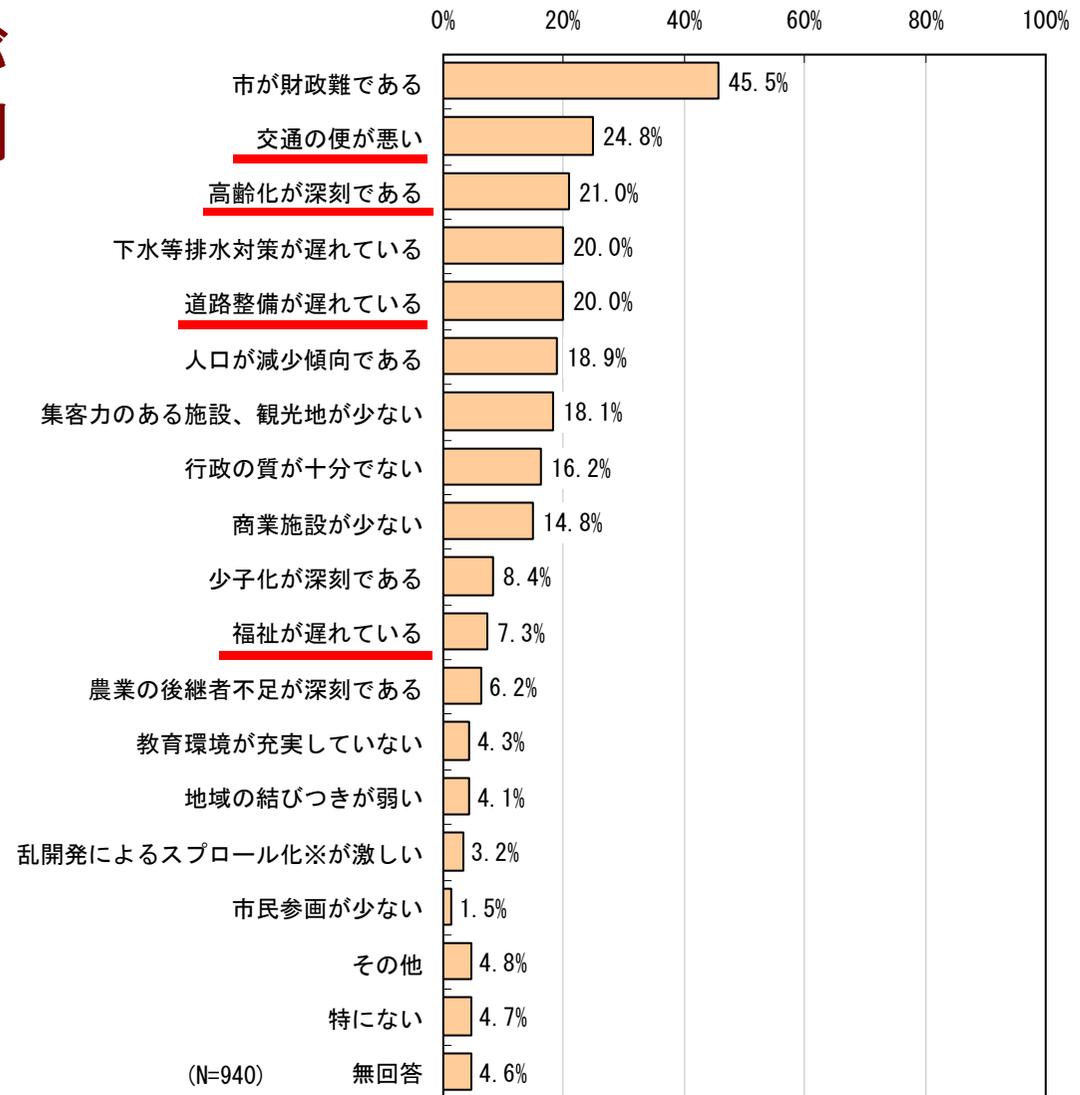
## ●他の自治体と比較して優れていると思う点

◆「自然災害が少ない」が第1位で35.2%となっている。



## ●他の自治体と比較して劣っていると思う点

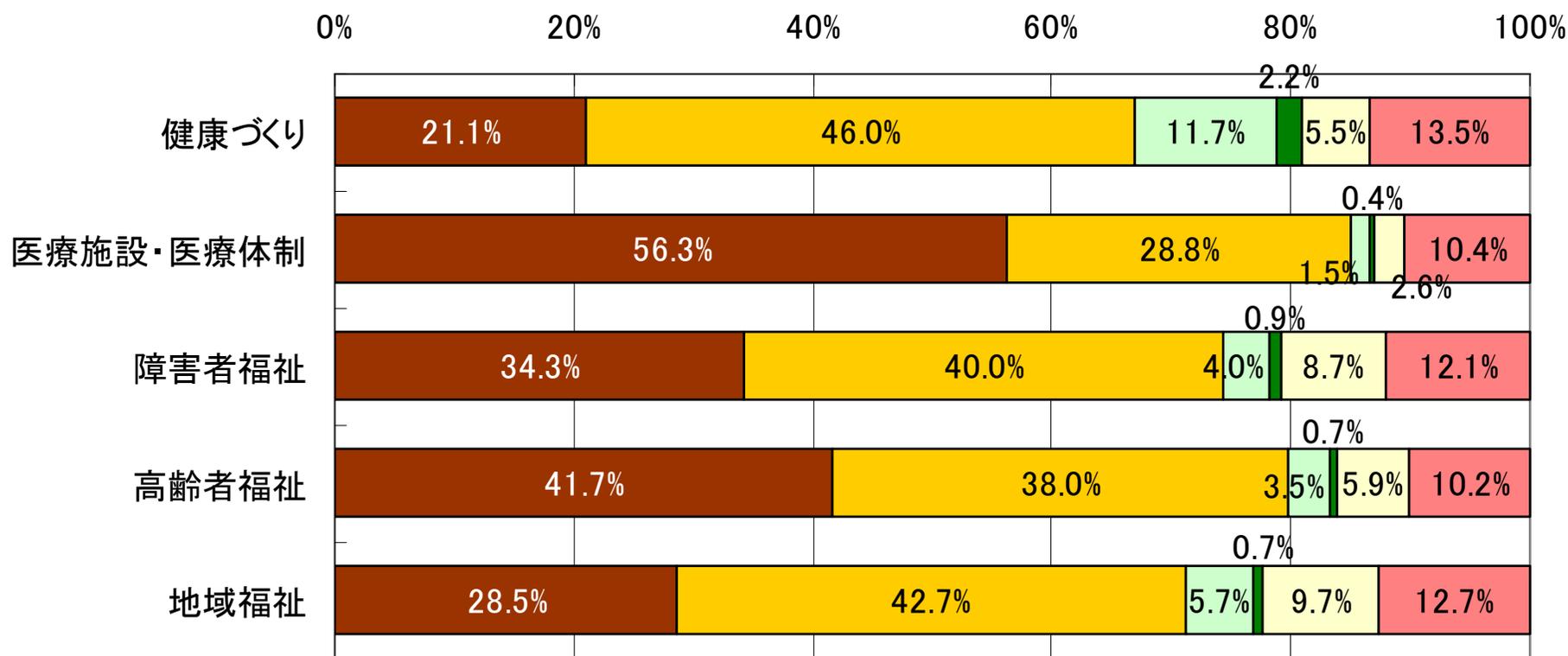
◆「交通の便が悪い」が24.8%、「高齢化が深刻である」が21.0%、「道路整備が遅れている」が20.0%となっている。



## ●施策の重要度（医療・福祉分野）

◆医療施設・医療体制が重要と考える人は、85.1%

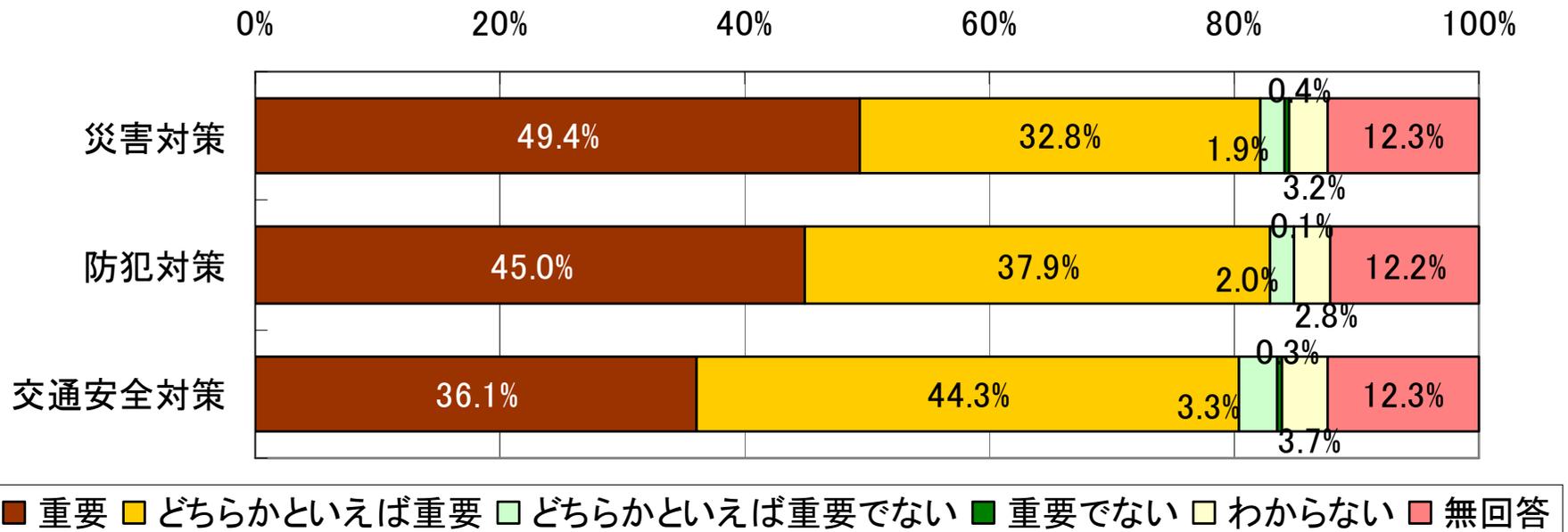
◆高齢者福祉が重要と考える人は、79.7%



■ 重要 ■ どちらかといえば重要 ■ どちらかといえば重要でない ■ 重要でない □ わからない □ 無回答

## ● 施策の重要度（防犯、防災）

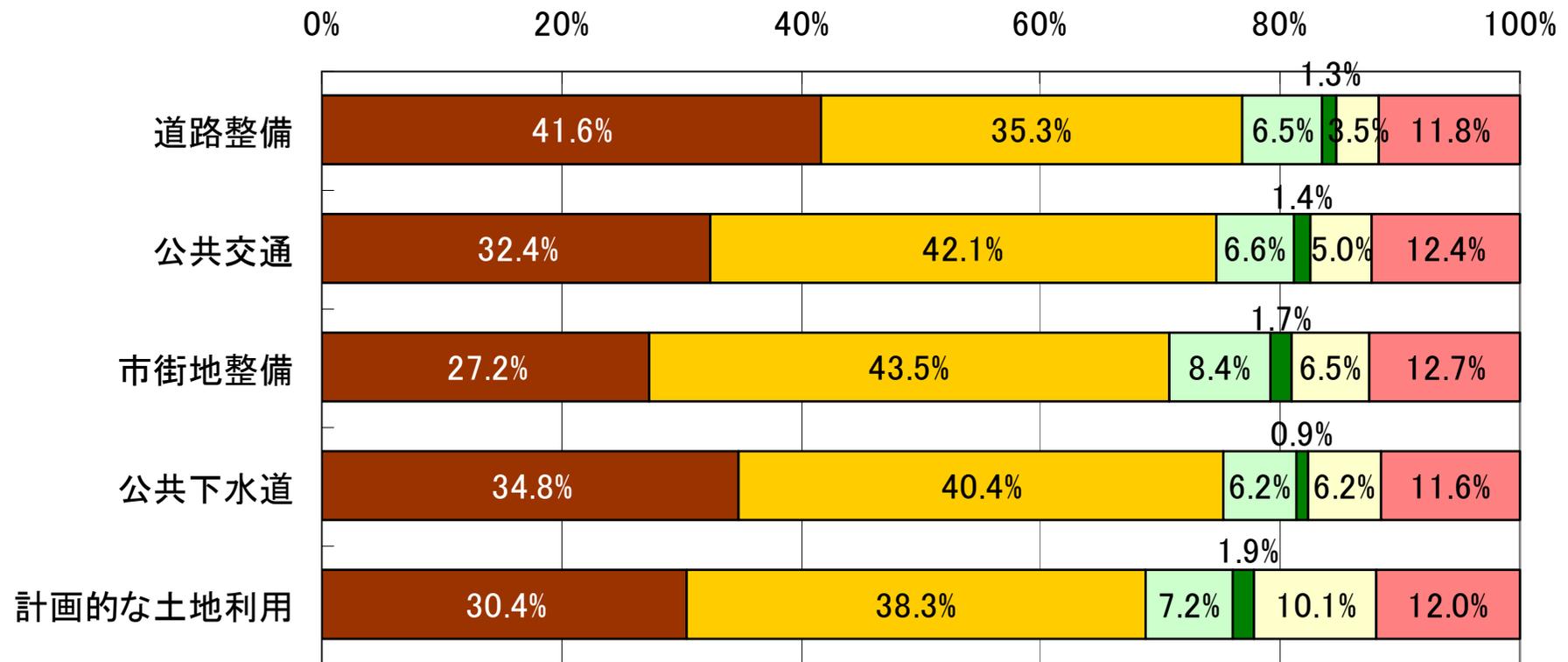
◆ 災害対策、防犯対策が重要と考える人は、それぞれ約8割



## ● 施策の重要度（都市基盤分野）

◆ 道路整備が重要だと考える人は、76.9%

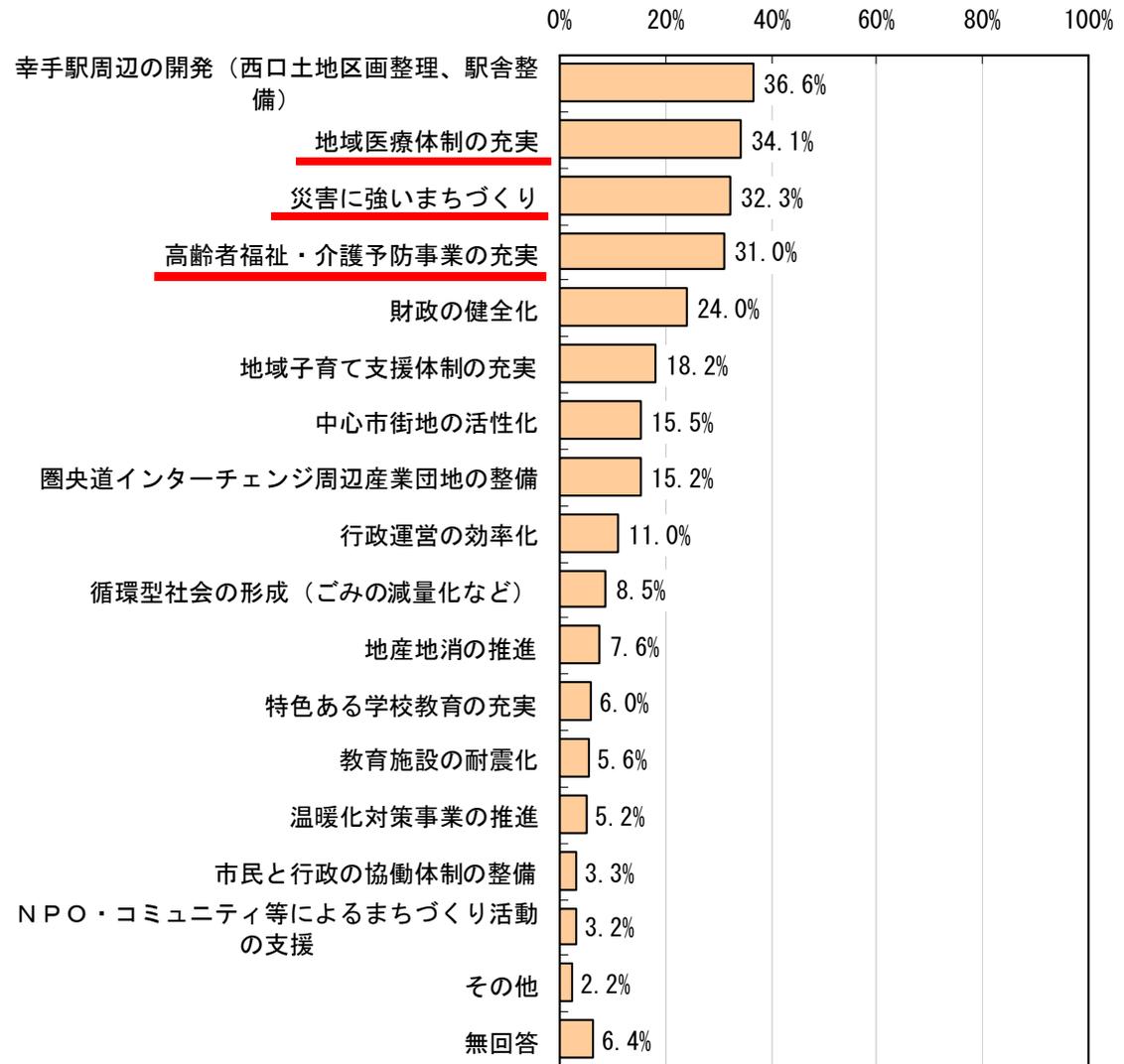
◆ 公共交通が重要だと考える人は、74.5%



■ 重要 
 ■ どちらかといえば重要 
 ■ どちらかといえば重要でない 
 ■ 重要でない 
 □ わからない 
 ■ 無回答

## ●今後、重点的に取り組むべきと思う施策（抜粋）

◆「地域医療体制」が34.1%、「災害に強いまちづくり」が32.3%、「高齢者福祉・介護予防事業の充実」が31.0%と上位を占めている。



(N=940)

# 3. グループワーク

## 本日のテーマと検討課題

### 【第3回】

安全・安心なまちをつくるために

④

安心・安全に住み続けられるまちにするためにはどうすれば良いか。  
(福祉／防災／防犯など)

⑤

快適・便利に暮らせるまちにするためにはどうすれば良いか。  
(道路／公共交通など)

# 第3回のグループワークの進め方

## グループワーク①

## グループワーク②

検討課題	現状（宝ものの問題もの）			取り組みアイデア	
	人	もの・場所	機会・情報	市民主体	行政主体
安心・安全に住み続けられるまちにするためにはどうすれば良いか。	3つの検討課題のそれぞれについて、「宝もの（良いところ）」と「問題もの（改善すべきところ）」について出し合い、整理します。			①で整理した現状を踏まえて、課題に対する取り組みアイデアについて検討します。	
快適・便利に暮らせるまちにするためにはどうすれば良いか。					